

イノウエと子会社の竹本

顧客開拓でシナジー発揮

高機能金属軸に提案開始

ステンレス・高機能合金流通のイノウエ（本社〓東京都千代田区、井上浩樹社長）は、昨年7月に子会社化した管機材商社、竹本（本社〓神戸市中央区、木村賢児社長）との連携を強化する。竹本や同社の元親会社、西華産業とともに顧客開拓を行うなど、シナジーを生かした取り組みを進める。

金属材料とエンジン・アリンク事業が主軸のイノウエと竹本は、業容や顧客が異なるため、営業や人事面で交流は少なかった。このほどイノウエが扱う高機能金属を軸に、竹本や西華産業の顧客へ提案を行う取り組みを開始した。井上社長は「イ

西華産業の完全子会社だったが、昨年7月にイノウエが90%、西華産業が10%出資する体制となった。

イノウエグループとなつてからは、若手営業マンや事務社員の採用を積極的に行うなどの人材確保と、月次の業績報告や目標策定といった経営の見える化を重視してきた。これらの取り組みが実を結び、竹本は2024年3月期決算で2期ぶりの黒字化に転じるなど、成果が表れ始めている。

金属材料とエンジン・アリンク事業が主軸のイノウエと竹本は、業容や顧客が異なるため、営業や人事面で交流は少なかった。このほどイノウエが扱う高機能金属を軸に、竹本や西華産業の顧客へ提案を行う取り組みを開始した。井上社長は「イ

とする。昨年6月まで